

2006年7月10日

日立ソフト

日立ソフトが内部統制整備ベンチマーキングサービス「SoxBench」を提供開始 ～ 内部統制整備の文書化レベルを把握し、整備作業最適化を支援～

日立ソフト（本社：東京都品川区、代表執行役 執行役社長 小野 功）は、内部統制整備の文書化レベルを把握し、今後取り組むべき課題を明確化する内部統制整備ベンチマーキングサービス「SoxBench（ソックスベンチ）」を7月10日より提供開始いたします。

2002年の米国企業改革法(SOX 法)による内部統制の強化を受け、日本においても金融商品取引法が2006年6月に法制化され、2009年3月期決算から適用が開始されます。こうした状況の中、上場企業は内部統制の整備、改善・強化へ取り組みを開始しております。しかし、プロジェクトの立上げ、パイロットモデルの構築、文書化作業の着手段階において、具体的に何をどのように、どこまで実施すれば良いの分からない等、多くの企業がさまざまな課題を抱えているといえます。そこで日立ソフトでは、内部統制の整備に着手された上場企業を対象に、内部統制整備ベンチマーキングサービス「SoxBench」の提供を開始することにいたしました。

「SoxBench」は、企業が取り組み始めた内部統制の整備作業に対し、日立ソフトが米国SOX法への対応で構築してきた内部統制整備実績をベースに、プロジェクト計画、文書化作業で作成される成果物の整備状況と対比することで、現在の整備レベルの把握及び今後取り組むべき課題の明確化を行い、今後の整備作業最適化を支援することを目指します。日立ソフトで検討し、実際に作成された各フェーズごとの作業成果物を基準に比較しますので、今後の作業展開イメージが明確になります。

本サービスでは、まずご提案のための事前ヒアリングを行い、内部統制整備の進捗状況により最適なベンチマーキング範囲を提案します。その後、ベンチマーク作業として作業成果物の比較を行い、結果報告書を作成しベンチマーク結果をご報告します。

さまざまな企業が日本版SOX法への対応準備に入った今日、内部統制整備ベンチマーキングサービス「SoxBench」により、内部統制再構築において、プロジェクトの立上げ、文書化作業を効果的、効率的に推進することが可能となります。

価格：内部統制整備ベンチマーキングサービス（SoxBench）：200万円～
作業期間：1ヶ月～

内部統制整備ベンチマーキングサービス「SoxBench」の流れ



- * 日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。
- * SoxBench は日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の商標です。

< 本件に関するお問合せ先 >

日立ソフト CSR 本部広報 IR 部 担当：竹橋、高野

E-mail : press@hitachisoft.jp Tel : 03-5780-6450